

ストップライン付き 野村ワールドボンド・ファンド

愛称：ほっとステップ

運用報告書(全体版)

第5期（決算日2023年5月15日）

作成対象期間（2022年5月17日～2023年5月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券		
信託期間	2018年8月17日から2028年5月15日までです。		
運用方針	グローバル債券マザーファンドおよび野村短期日本国債マザーファンド（以下「各マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、世界各国の公社債ならびに残存期間の短いわが国の国債等を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図るとともに、基準価額の下値抑制を目標に運用を行ないます。各マザーファンド受益証券への投資配分比率は、当ファンドの基準価額（1万口当たり。支払済みの分配金累計額は加算しません。）が予め定められた水準を下回らないことを目標に、当ファンドが実質的に保有する資産全体のリスク水準を考慮して決定します。実質組入外貨建資産については、マザーファンドにおいて為替ヘッジ（他通貨による代替ヘッジを含みます。）を行なうことを基本とし、当ファンドにおいては原則として為替ヘッジを行ないません。ただし、外貨建資産に直接投資をした場合は、原則として、当ファンドで為替ヘッジを行なうことを基本とします。		
主な投資対象	ストップライン付き 野村ワールドボンド・ファンド	各マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、内外の公社債およびコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	グローバル債券マザーファンド	世界各国の公社債を主要投資対象とします。	
	野村短期日本国債マザーファンド	本邦通貨表示の残存期間の短いわが国の国債等を主要投資対象とします。	
主な投資制限	ストップライン付き 野村ワールドボンド・ファンド	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行ないません。株式への投資は転換社債を転換したもの等に限り、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。	
	グローバル債券マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行ないません。株式への投資は、転換社債を転換したもの等に限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。	
	野村短期日本国債マザーファンド	株式への投資は行ないません。外貨建資産への投資は行ないません。	
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、利子・配当等収益を中心に、運用の効率性および基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないません。		

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率		債券組入比率	債券先物比率	純資産額
		税金 分	み 金			
(設定日) 2018年8月17日	円 10,000	円 -	% -	% -	% -	百万円 85
1期(2019年5月15日)	10,084	0	0.8	73.1	18.0	1,632
2期(2020年5月15日)	10,063	0	△0.2	71.4	14.3	2,251
3期(2021年5月17日)	10,103	0	0.4	82.8	12.6	2,680
4期(2022年5月16日)	9,734	0	△3.7	85.0	△2.4	2,432
5期(2023年5月15日)	9,642	0	△0.9	87.2	△1.7	2,196

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率	騰落率		
(期首) 2022年5月16日	円 9,734	% -	% -	% 85.0	% △2.4
5月末	9,728	△0.1		85.9	△1.0
6月末	9,689	△0.5		78.0	2.8
7月末	9,708	△0.3		89.5	△1.2
8月末	9,683	△0.5		83.8	△1.8
9月末	9,657	△0.8		87.6	△2.0
10月末	9,660	△0.8		86.9	△1.2
11月末	9,667	△0.7		85.6	△2.3
12月末	9,652	△0.8		85.0	△3.3
2023年1月末	9,655	△0.8		88.0	△5.3
2月末	9,635	△1.0		86.8	△2.1
3月末	9,645	△0.9		87.3	△0.3
4月末	9,640	△1.0		87.3	△0.8
(期末) 2023年5月15日	9,642	△0.9		87.2	△1.7

*騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：9,734円

期 末：9,642円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 0.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2022年5月16日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

* 基準価額は0.95%の下落

基準価額は、期首9,734円から期末9,642円に92円の値下がりとなりました。

- (上昇) 債券を保有していたことによる、インカムゲイン(利息収入)。
- (上昇) 欧州通貨が米ドルや円に対して上昇したことによる為替差益。
- (下落) 債券利回りが上昇(価格は下落)したことによるキャピタルロス(値下がり損)。
- (下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト(金利差相当分の費用)。

○投資環境

債券市場<国債利回りは米国・ドイツ・日本で上昇>

米国では、債券利回りは上昇しました。FRB（米連邦準備制度理事会）が、高いインフレ率を背景に1回あたり0.75%の利上げを実施するなど積極的な金融引き締めを継続したことなどから、債券利回りは上昇しました。期末にかけて、一部の銀行の経営破綻をきっかけとした金融システム不安の強まりや、FRBの利上げ終了観測の高まりなどから、債券利回りは低下（価格は上昇）したものの、期を通じては、債券利回りは上昇しました。

ユーロ圏では、インフレが高止まりを続ける中で、ECB（欧州中央銀行）が2022年7月に0.5%の利上げを実施するなどこれまでの緩和的な金融政策から転換を見せ、その後も、金融引き締めを継続したことなどから、ドイツの債券利回りは上昇しました。

日本では、海外の中央銀行が金融引き締めを進める中で、日銀の緩和的な金融政策の将来的な転換の可能性が市場で意識されたことなどから、超長期債を中心に、利回りは上昇基調で推移しました。日銀が2022年12月の決定会合において、ゼロ%程度で推移させることを目指す10年国債利回りの変動許容幅を従来よりも広い上下0.5%へと拡大したことも、債券利回り上昇の動きを後押ししました。2023年に入ると、日銀の引き締め方向での金融政策の修正観測が高まる中で、日銀が主要な金融政策内容を据え置き、金融緩和を継続していく姿勢を見せたことなどから、債券利回りは低下する局面があったものの、期を通じては、債券利回りは上昇しました。

為替市場<米ドル・ユーロは円に対して上昇>

日本政府・日銀による為替介入や日銀の金融引き締め方向での政策修正の可能性が市場で意識されたことなどを背景に、米ドルやユーロが円に対して下落する局面はあったものの、期を通じては、海外の中央銀行が積極的な金融引き締めを続けたことなどを背景に、米ドルやユーロは円に対して上昇しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[ストップライン付き野村ワールドボンド・ファンド]

期を通じて [グローバル債券マザーファンド] 受益証券および、[野村短期日本国債マザーファンド] 受益証券の組入比率を高位に維持しました。

[グローバル債券マザーファンド] 受益証券の組入比率は15~35%程度とし、[野村短期日本国債マザーファンド] 受益証券の組入比率は60~85%程度としました。

また、ストップライン、償還検討ラインの引き上げは行ないませんでした。

[グローバル債券マザーファンド]

米国、欧州（ユーロ圏・英国）、日本の国債などに分散投資を行ない、デュレーションを1.5~4.0年程度としました。通貨変動リスクを低減するために、ファンド全体の外貨エクスポージャー*はおおむね1~8%程度と低位に維持しました。年限別では、安定した収益の確保をはかるための短・中期債への投資に加えて、長期債にも投資しました。

*外貨エクスポージャーとは、外貨建純資産のうち為替ヘッジを行なわなかった額の純資産に対する比率。

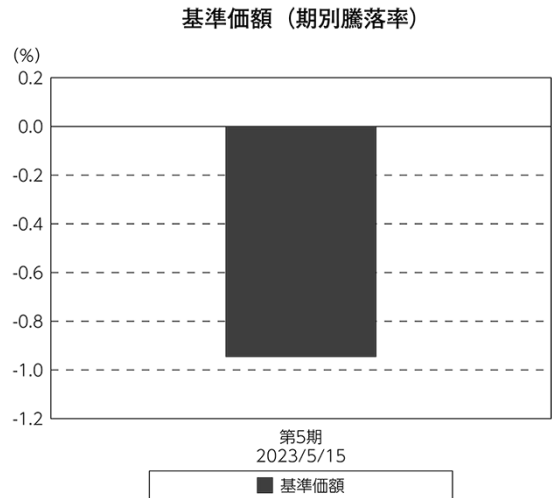
[野村短期日本国債マザーファンド]

主として残存3ヶ月程度までのTDB（国庫短期証券）により運用いたしました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

当期の収益分配金は、基準価額水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第5期
	2022年5月17日～ 2023年5月15日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	158

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[グローバル債券マザーファンド]

今後の運用につきましては、引き続き地域や銘柄の分散に配慮しつつ、安定的な収益の確保をはかるために金利リスクを適切に調整した運用を行ないます。邦貨建資産の額と外貨建資産のうち為替ヘッジを行なった資産の額との合計額は、原則として信託財産の純資産総額の90%±10%程度の範囲内で、市場見通しに応じて調整を行ないます。

[野村短期日本国債マザーファンド]

残存期間の短いわが国の国債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせて債券現先やコールローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日銀によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる国債等の利回りや余資運用の際の債券現先・コールローン等の金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

[ストップライン付き野村ワールドボンド・ファンド]

[グローバル債券マザーファンド] 受益証券および [野村短期日本国債マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 5 月17日～2023年 5 月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	18	0.190	(a) 信託報酬＝期中の信託報酬額÷期中の平均受益権口数
（ 投 信 会 社 ）	(8)	(0.078)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(8)	(0.078)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.033)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.003	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	(0)	(0.003)	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	1	0.006	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.003)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	19	0.199	
期中の平均基準価額は、9,668円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

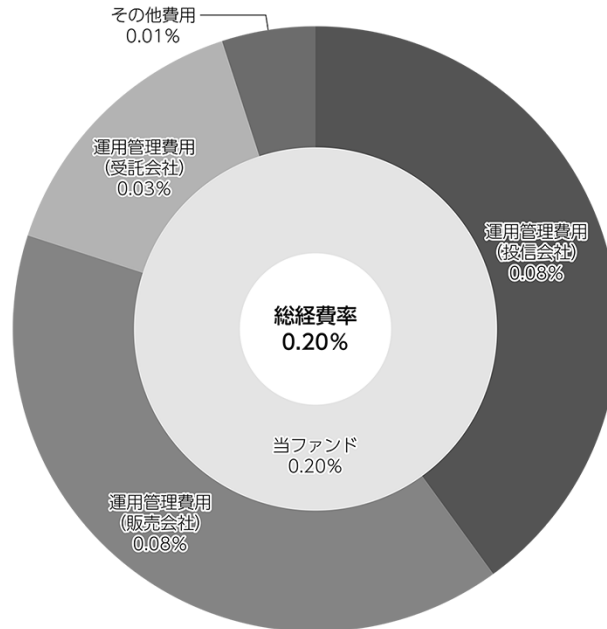
* 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.20%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年5月17日～2023年5月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
グローバル債券マザーファンド	940,510	927,200	1,313,111	1,293,000
野村短期日本国債マザーファンド	451,415	449,600	223,955	223,000

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年5月17日～2023年5月15日)

利害関係人との取引状況

<ストップライン付き野村ワールドボンド・ファンド>
該当事項はございません。

<グローバル債券マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
債券先物取引	8,744	296	3.4	8,735	149	1.7

平均保有割合 18.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

<野村短期日本国債マザーファンド>
該当事項はございません。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当期
売買委託手数料総額 (A)	63千円
うち利害関係人への支払額 (B)	0.648千円
(B) / (A)	1.0%

*売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社です。

○組入資産の明細

(2023年5月15日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバル債券マザーファンド	786,711	414,110	408,023
野村短期日本国債マザーファンド	1,534,998	1,762,457	1,753,821

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「参考情報」または「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2023年5月15日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル債券マザーファンド	408,023	18.5
野村短期日本国債マザーファンド	1,753,821	79.4
コール・ローン等、その他	48,333	2.1
投資信託財産総額	2,210,177	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*グローバル債券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（2,186,017千円）の投資信託財産総額（2,584,035千円）に対する比率は84.6%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=136.05円、1カナダドル=100.29円、1英ポンド=169.36円、1スウェーデンクローナ=13.10円、1ノルウェークローネ=12.73円、1ユーロ=147.66円、1ズロチ=32.6707円、1シンガポールドル=101.65円、1リンギ=30.2601円、1豪ドル=90.53円、1ニュージーランドドル=84.30円、1メキシコペソ=7.7381円、1ランド=7.09円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年5月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,210,177,865
コール・ローン等	48,333,240
グローバル債券マザーファンド(評価額)	408,023,225
野村短期日本国債マザーファンド(評価額)	1,753,821,400
(B) 負債	13,312,330
未払金	2,138,296
未払解約金	9,539,968
未払信託報酬	1,609,330
未払利息	38
その他未払費用	24,698
(C) 純資産総額(A - B)	2,196,865,535
元本	2,278,493,132
次期繰越損益金	△ 81,627,597
(D) 受益権総口数	2,278,493,132口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,642円

(注) 期首元本額は2,498,636,301円、期中追加設定元本額は5,783,561円、期中一部解約元本額は225,926,730円、1口当たり純資産額は0.9642円です。

○損益の状況 (2022年5月17日～2023年5月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 16,888
受取利息	5
支払利息	△ 16,893
(B) 有価証券売買損益	△ 12,298,841
売買益	284,125
売買損	△ 12,582,966
(C) 先物取引等取引損益	△ 4,102,515
取引損	△ 4,102,515
(D) 信託報酬等	△ 4,469,693
(E) 当期繰越損益金(A + B + C + D)	△ 20,887,937
(F) 前期繰越損益金	△ 96,548,641
(G) 追加信託差損益金	35,808,981
(配当等相当額)	(20,654,607)
(売買損益相当額)	(15,154,374)
(H) 計(E + F + G)	△ 81,627,597
(I) 収益分配金	0
次期繰越損益金(H + I)	△ 81,627,597
追加信託差損益金	35,808,981
(配当等相当額)	(20,655,926)
(売買損益相当額)	(15,153,055)
分配準備積立金	15,465,900
繰越損益金	△132,902,478

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2022年5月17日～2023年5月15日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2022年5月17日～ 2023年5月15日
a. 配当等収益(経費控除後)	1,498,553円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	20,655,926円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	13,967,347円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	36,121,826円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	158円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2023年5月15日現在）

<グローバル債券マザーファンド>

下記は、グローバル債券マザーファンド全体(2,581,643千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	2,310	2,162	294,180	11.6	—	10.5	—	1.1
カナダ	千カナダドル	千カナダドル						
	300	297	29,871	1.2	—	—	—	1.2
イギリス	千英ポンド	千英ポンド						
	700	601	101,804	4.0	—	—	4.0	—
スウェーデン	千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ						
	20,000	19,340	253,358	10.0	—	—	—	10.0
ノルウェー	千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ						
	2,000	1,999	25,451	1.0	—	—	—	1.0
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	1,150	1,051	155,302	6.1	—	6.1	—	—
イタリア	2,000	1,984	293,023	11.5	—	—	—	11.5
スペイン	1,100	1,122	165,768	6.5	—	—	2.4	4.1
ベルギー	1,050	863	127,503	5.0	—	3.7	1.3	—
オーストラリア	千豪ドル	千豪ドル						
	5,100	4,794	434,025	17.1	—	8.0	9.1	—
ニュージーランド	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル						
	720	689	58,133	2.3	—	1.9	—	0.4
メキシコ	千メキシコペソ	千メキシコペソ						
	20,000	18,885	146,138	5.7	—	5.7	—	—
合 計	—	—	2,084,561	82.0	—	36.0	16.8	29.2

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
国債証券	US TREASURY N/B		4.125	750	789	107,410	2032/11/15
	US TREASURY N/B		3.5	200	200	27,286	2033/2/15
	US TREASURY N/B		4.0	120	122	16,660	2042/11/15
	US TREASURY N/B		1.875	610	405	55,187	2051/11/15
	US TREASURY N/B		4.0	430	447	60,891	2052/11/15
特殊債券 (除く金融債)	JAPAN BANK FOR INTL COOP		0.375	200	196	26,744	2023/9/15
小 計						294,180	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
国債証券	CANADIAN GOVERNMENT		2.0	300	297	29,871	2023/9/1
小 計						29,871	
イギリス				千英ポンド	千英ポンド		
地方債証券	ONTARIO (PROVINCE OF)		0.25	300	257	43,639	2026/12/15
特殊債券 (除く金融債)	KFW		0.75	400	343	58,164	2027/12/7
小 計						101,804	
スウェーデン				千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ		
特殊債券 (除く金融債)	AFRICAN DEVELOPMENT BANK		0.375	15,000	14,546	190,553	2024/4/11
	EUROPEAN INVESTMENT BANK		1.25	5,000	4,794	62,804	2025/5/12
小 計						253,358	
ノルウェー				千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ		
国債証券	NORWEGIAN GOVERNMENT		2.0	2,000	1,999	25,451	2023/5/24
小 計						25,451	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	1.7	850	813	120,050	2032/8/15
	特殊債券 (除く金融債)	KFW	0.125	300	238	35,252	2032/1/9
イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	2.45	1,000	995	146,995	2023/10/1
	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	0.65	1,000	988	146,028	2023/10/15
スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	4.4	700	703	103,893	2023/10/31
	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	5.9	300	327	48,330	2026/7/30
	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	0.8	100	91	13,544	2027/7/30
ベルギー	国債証券	BELGIUM KINGDOM	—	250	224	33,131	2027/10/22
	国債証券	BELGIUM KINGDOM	0.35	800	639	94,372	2032/6/22
小 計						741,598	
オーストラリア				千豪ドル	千豪ドル		
特殊債券 (除く金融債)	BK NEDERLANDSE GEMEENTEN		3.5	2,000	1,970	178,362	2027/7/19
	INTER-AMERICAN DEVEL BK		3.1	600	582	52,740	2028/2/22
	KOMMUNALBANKEN AS		2.4	2,500	2,241	202,922	2029/11/21
小 計						434,025	
ニュージーランド				千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
国債証券	NEW ZEALAND GOVERNMENT		0.5	120	114	9,660	2024/5/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT		3.5	600	575	48,472	2033/4/14
小 計						58,133	

銘	柄	当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
	国債証券 MEX BONOS DESARR FIX RT	7.75	20,000	18,885	146,138	2031/5/29
	小 計				146,138	
	合 計				2,084,561	

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

先物取引の銘柄別期末残高

銘	柄	別	当 期 末	
			買 建 額	売 建 額
外	債券先物取引	AU10YR	百万円	百万円
国		ULTRA (10YEAR)	—	266
			33	—

*単位未満は切り捨て。

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

グローバル債券マザーファンド

運用報告書

第6期（決算日2022年10月11日）

作成対象期間（2021年10月12日～2022年10月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界各国の公社債を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。 投資する公社債は、投資時点においてBBB格相当以上の格付（格付がない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。）を有する公社債とし、日本を含む先進国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、地方債）を中心に投資します。
主な投資対象	世界各国の公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。株式への投資は、転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指標	債組入比率	債券先物比率	純資産額
	期騰落	中率				
	円	%	%	%	%	百万円
2期(2018年10月10日)	9,877	△1.5	△0.05	75.4	27.6	7,539
3期(2019年10月10日)	10,430	5.6	△0.11	87.4	13.3	12,432
4期(2020年10月12日)	10,565	1.3	△0.10	90.7	14.9	9,172
5期(2021年10月11日)	10,424	△1.3	△0.08	80.1	9.5	8,154
6期(2022年10月11日)	9,766	△6.3	0.05	81.8	△10.6	2,822

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*参考指標は、2021年12月末まで日本円1ヵ月LIBORを使用しておりましたが、2022年1月からは日本円1ヵ月TIBORに変更しております。
参考指標の騰落率は、日本円1ヵ月LIBORと日本円1ヵ月TIBORをもとに、当社が独自に累積再投資して算出しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

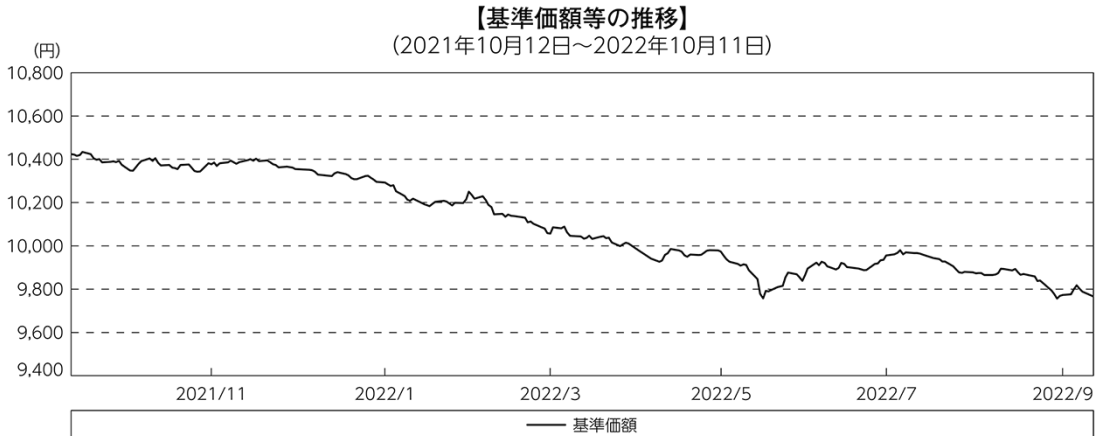
年月日	基準価額		参考指標	債組入比率	債券先物比率
	騰落	率			
(期首) 2021年10月11日	円	%	%	%	%
10月末	10,375	△0.5	△0.00	86.0	13.0
11月末	10,377	△0.5	△0.01	83.1	19.4
12月末	10,355	△0.7	△0.02	95.9	11.2
2022年1月末	10,292	△1.3	△0.01	92.5	△4.2
2月末	10,198	△2.2	△0.00	93.3	△3.7
3月末	10,057	△3.5	0.00	95.6	△3.0
4月末	10,011	△4.0	0.01	88.7	△5.3
5月末	9,973	△4.3	0.02	86.7	△3.0
6月末	9,864	△5.4	0.02	55.6	11.0
7月末	9,955	△4.5	0.03	71.8	△4.4
8月末	9,874	△5.3	0.04	78.4	△7.4
9月末	9,773	△6.2	0.04	81.3	△9.7
(期末) 2022年10月11日	9,766	△6.3	0.05	81.8	△10.6

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指標は、2021年12月末まで日本円1ヵ月LIBORを使用しておりましたが、2022年1月からは日本円1ヵ月TIBORに変更しております。参考指標は、利率表示のため、基準価額と併記する形でのグラフ掲載はしていません。

○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は6.31%の下落

基準価額は、期首10,424円から期末9,766円に、658円の値下がりとなりました。

- (上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン（利息収入）。
- (上昇) 欧州通貨が円に対して上昇したことによる為替差益。
- (下落) 債券利回りが上昇（価格は下落）したことによるキャピタルロス（値下がり損）。
- (下落) 欧州通貨が米ドルに対して下落したことによる為替差損。
- (下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト（金利差相当分の費用）。

○当ファンドのポートフォリオ

米国、欧州（ユーロ圏・英国）、日本の国債等（国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、地方債）に分散投資を行ない、デュレーション※を1.5～5.0年程度としました。通貨変動リスクを低減するために、ファンドの外貨エクスポージャー※※はおおむね0～9%程度と低位に維持しました。年限別では、安定した収益の確保をはかるために短・中期債へ投資したほか、相対的に高い利息収入を期待できる長期債にも投資しました。

※ デュレーションとは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り変化に対する価格変化が大きくなります。

※※外貨エクスポージャーとは、外貨建純資産のうち為替ヘッジを行なわなかった額の純資産に対する比率です。

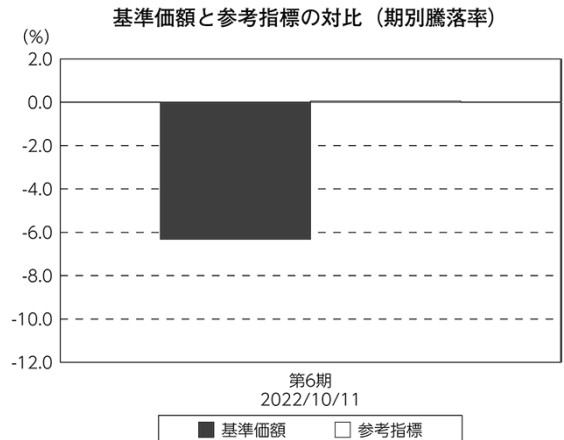
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

当期間において、2021年12月末までの参考指標としていた1ヵ月円LIBORと、2022年1月から参考指標としている1ヵ月円TIBORによる収益率※が+0.05%となったのに対し、基準価額の騰落率は-6.31%となりました。

※期中における1ヵ月円LIBORと1ヵ月円TIBORをもとに当社が独自に累積再投資して算出したもの。



(注) 参考指標の騰落率は、日本円1ヵ月LIBORと日本円1ヵ月TIBORをもとに、当社が独自に累積再投資して算出しております。

(主なプラス要因)

債券を保有していたことによるインカムゲイン。

欧州通貨が円に対して上昇したことによる為替差益。

(主なマイナス要因)

債券利回りが上昇したことによるキャピタルロス。

欧州通貨が米ドルに対して下落したことによる為替差損。

対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト（金利差相当分の費用）。

◎今後の運用方針

高インフレを背景に、米国を中心にグローバルな金融引き締めが進められていくと想定しています。引き続き地域や銘柄の分散に配慮しつつ、日本を含む先進国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、地方債）を中心に投資し、金利リスクを適切に調整して安定的な収益の獲得を目指します。また、通貨変動リスクを低減するために為替ヘッジを行ない、グローバル債券マザーファンドの外貨エクスポージャーは同マザーファンドの純資産総額の0～20%程度の範囲で調整を行ないます。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年10月12日～2022年10月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 1 (1)	% 0.014 (0.014)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (1) (1)	0.017 (0.012) (0.005)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	3	0.031	
期中の平均基準価額は、10,092円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年10月12日～2022年10月11日)

公社債

			買付額	売付額	
国内	国債証券		千円 1,316,957	千円 1,740,689	
外国	アメリカ	国債証券	千米ドル 655	千米ドル 164	
		特殊債券	194	2,127	
	カナダ	国債証券	千カナダドル 295	千カナダドル -	
		地方債証券	-	6,115	
		特殊債券	-	1,032	
	イギリス	国債証券	千英ポンド 227	千英ポンド -	
		特殊債券	352	-	
	スウェーデン	特殊債券	千スウェーデンクローナ -	千スウェーデンクローナ 9,720	
	ノルウェー	国債証券	千ノルウェークローネ 4,178	千ノルウェークローネ 30,632	
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ	
		ドイツ	国債証券	-	861
		イタリア	国債証券	2,016	11,075
		フランス	国債証券	1,884	2,666
			特殊債券	-	2,161
		スペイン	国債証券	3,939	4,251
		ベルギー	国債証券	500	-
		ポーランド	国債証券	千ズロチ -	千ズロチ 14,878
		シンガポール	国債証券	千シンガポールドル -	千シンガポールドル 802
		マレーシア	国債証券	千リンギ 6,751	千リンギ 5,842
		オーストラリア	特殊債券	千豪ドル -	千豪ドル 2,889
	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル 424	千ニュージーランドドル 1,738	

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
国内	債券先物取引	百万円 —	百万円 —	百万円 1,057	百万円 1,505
外国	債券先物取引	7,833	9,397	6,537	6,495

*単位未満は切り捨て。

*外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2021年10月12日～2022年10月11日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	610千円
うち利害関係人への支払額 (B)	18千円
(B) / (A)	3.1%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2022年10月11日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期		末				
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	64,000	69,733	2.5	—	2.5	—	—
合 計	64,000	69,733	2.5	—	2.5	—	—

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
国庫債券 利付(20年)第153回	1.3	64,000	69,733	2035/6/20
合 計		64,000	69,733	

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	790	575	83,952	3.0	—	2.0	—	1.0
カナダ	千カナダドル 300	千カナダドル 294	31,161	1.1	—	—	—	1.1
イギリス	千英ポンド 900	千英ポンド 757	122,437	4.3	—	3.0	1.4	—
スウェーデン	千スウェーデンクローナ 28,000	千スウェーデンクローナ 26,720	344,962	12.2	—	—	5.6	6.6
ノルウェー	千ノルウェークローネ 2,000	千ノルウェークローネ 1,989	27,210	1.0	—	—	—	1.0
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	100	52	7,467	0.3	—	0.3	—	—
イタリア	3,300	3,163	448,283	15.9	—	—	5.9	10.0
スペイン	3,700	3,712	526,152	18.6	—	—	2.1	16.5
ベルギー	550	433	61,468	2.2	—	2.2	—	—
シンガポール	千シンガポールドル 400	千シンガポールドル 398	40,441	1.4	—	—	—	1.4
マレーシア	千リンギ 950	千リンギ 881	27,519	1.0	—	1.0	—	—
オーストラリア	千豪ドル 5,100	千豪ドル 4,572	420,192	14.9	—	8.7	6.2	—
メキシコ	千メキシコペソ 15,000	千メキシコペソ 13,214	96,578	3.4	—	—	3.4	—
合 計	—	—	2,237,828	79.3	—	17.1	24.7	37.5

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当期末					償還年月日	
		利率	額面金額	評価額		外貨建金額		
				外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	1.875	590	383	55,936	2051/11/15	
	特殊債券 (除く金融債)	JAPAN BANK FOR INTL COOP	0.375	200	192	28,016	2023/9/15	
	小計					83,952		
カナダ	国債証券	CANADIAN GOVERNMENT	2.0	300	294	31,161	2023/9/1	
	小計					31,161		
イギリス	国債証券	UK TREASURY	4.25	200	196	31,696	2032/6/7	
	地方債証券	ONTARIO (PROVINCE OF)	0.25	300	241	39,071	2026/12/15	
	特殊債券 (除く金融債)	KFW	0.75	400	319	51,669	2027/12/7	
	小計					122,437		
スウェーデン	特殊債券 (除く金融債)	AFRICAN DEVELOPMENT BANK	0.375	15,000	14,417	186,126	2024/4/11	
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	1.25	5,000	4,777	61,671	2025/5/12	
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	1.75	8,000	7,526	97,165	2026/11/12	
	小計					344,962		
ノルウェー	国債証券	NORWEGIAN GOVERNMENT	2.0	2,000	1,989	27,210	2023/5/24	
	小計					27,210		
ユーロ	ドイツ	国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	—	100	52	7,467	2050/8/15
	イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	2.45	1,000	1,000	141,776	2023/10/1
			BUONI POLIENNALI DEL TES	0.65	1,000	982	139,295	2023/10/15
			BUONI POLIENNALI DEL TES	0.5	1,300	1,179	167,211	2026/2/1
	スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	0.35	2,600	2,568	363,964	2023/7/30
			BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	4.4	700	716	101,562	2023/10/31
			BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	5.9	300	336	47,707	2026/7/30
			BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	0.8	100	91	12,917	2027/7/30
	ベルギー	国債証券	BELGIUM KINGDOM	0.35	550	433	61,468	2032/6/22
	小計					1,043,371		
シンガポール	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT	1.75	400	398	40,441	2023/2/1	
	小計					40,441		
マレーシア	国債証券	MALAYSIAN GOVERNMENT	2.632	150	130	4,086	2031/4/15	
		MALAYSIAN GOVERNMENT	3.582	800	750	23,432	2032/7/15	
	小計					27,519		
オーストラリア	特殊債券 (除く金融債)	BK NEDERLANDSE GEMEENTEN	3.5	2,000	1,901	174,756	2027/7/19	
		INTER-AMERICAN DEVEL BK	3.1	600	557	51,272	2028/2/22	
		KOMMUNALBANKEN AS	2.4	2,500	2,113	194,163	2029/11/21	
	小計					420,192		

銘柄	当 期 末				
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
			外貨建金額	邦貨換算金額	
メキシコ	%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
国債証券	MEX BONOS DESARR FIX RT	5.75	15,000	13,214	96,578
小 計				96,578	2026/3/5
合 計				2,237,828	

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
	百万円	百万円
外 債券先物取引	358	—
TNOTE (2YEAR)	—	155
TNOTE (5YEAR)	—	269
AU10YR	—	201
BOBL	—	19
BUNDS	19	—
BUXL	19	—
T-ULTRA	—	51
ULTRA (10YEAR)	—	

*単位未満は切り捨て。

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2022年10月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,307,561	80.6
コール・ローン等、その他	555,782	19.4
投資信託財産総額	2,863,343	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建純資産(2,483,957千円)の投資信託財産総額(2,863,343千円)に対する比率は86.8%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=145.77円、1カナダドル=105.84円、1英ポンド=161.63円、1スウェーデンクローナ=12.91円、1ノルウェークローネ=13.68円、1ユーロ=141.72円、1ズロチ=29.1664円、1シンガポールドル=101.55円、1リンギ=31.2309円、1豪ドル=91.89円、1ニュージーランドドル=81.40円、1メキシコペソ=7.3084円、1ランド=8.07円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年10月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,148,700,450
コール・ローン等	286,304,199
公社債(評価額)	2,307,561,849
未収入金	2,362,213,939
未収利息	10,188,907
前払費用	4,916,451
差入委託証拠金	177,515,105
(B) 負債	2,326,571,257
未払金	2,303,971,091
未払解約金	22,600,000
未払利息	166
(C) 純資産総額(A-B)	2,822,129,193
元本	2,889,744,994
次期繰越損益金	△ 67,615,801
(D) 受益権総口数	2,889,744,994口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,766円

(注) 期首元本額は7,822,971,441円、期中追加設定元本額は1,386,309,550円、期中一部解約元本額は6,319,535,997円、1口当たり純資産額は0.9766円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・野村ワールドボンド・ファンド 2,395,413,401円
 ・ストップライン付き野村ワールドボンド・ファンド 494,331,593円

○損益の状況 (2021年10月12日～2022年10月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	68,340,606
受取利息	68,159,158
その他収益金	352,528
支払利息	△ 171,080
(B) 有価証券売買損益	△ 444,211,937
売買益	908,633,199
売買損	△1,352,845,136
(C) 先物取引等取引損益	106,141,885
取引益	195,451,495
取引損	△ 89,309,610
(D) 保管費用等	△ 754,358
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 270,483,804
(F) 前期繰越損益金	331,941,556
(G) 追加信託差損益金	22,890,450
(H) 解約差損益金	△ 151,964,003
(I) 計(E+F+G+H)	△ 67,615,801
次期繰越損益金(I)	△ 67,615,801

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

野村短期日本国債マザーファンド

運用報告書

第5期（決算日2023年5月15日）

作成対象期間（2022年5月17日～2023年5月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の残存期間の短いわが国の国債等を主要投資対象とし、流動性の確保と金融市場の短期金利水準に応じた投資成果を目指して運用を行いません。
主な投資対象	本邦通貨表示の残存期間の短いわが国の国債等を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		騰	落			
(設定日) 2018年8月17日	円 10,000		% -	% -	% -	百万円 26
1期(2019年5月15日)	9,984		△0.2	96.2	-	222
2期(2020年5月15日)	9,972		△0.1	95.7	-	467
3期(2021年5月17日)	9,974		0.0	91.8	-	262
4期(2022年5月16日)	9,964		△0.1	89.8	-	1,529
5期(2023年5月15日)	9,951		△0.1	90.2	-	1,753

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

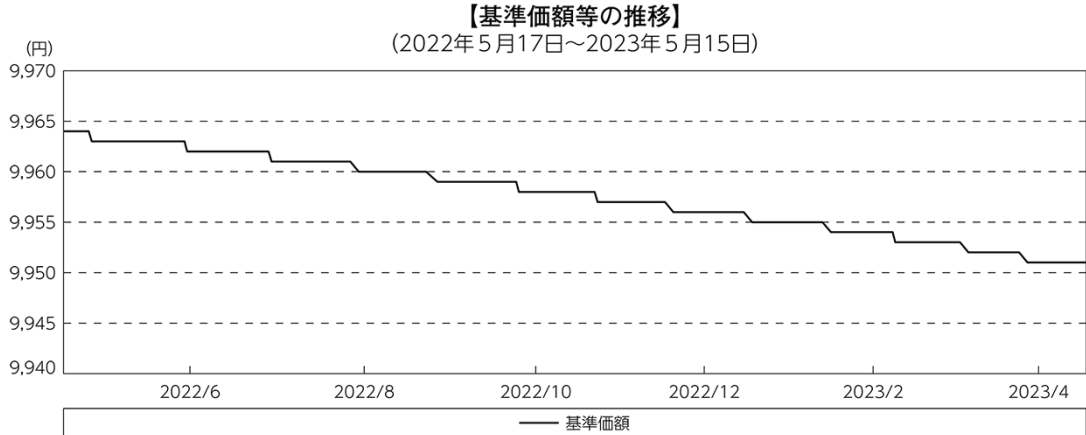
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰	落			
(期首) 2022年5月16日	円 9,964		% -	% 89.8	% -	% -
5月末	9,963		△0.0	90.1	-	-
6月末	9,962		△0.0	90.2	-	-
7月末	9,961		△0.0	97.5	-	-
8月末	9,960		△0.0	90.3	-	-
9月末	9,959		△0.1	93.8	-	-
10月末	9,958		△0.1	90.2	-	-
11月末	9,957		△0.1	90.1	-	-
12月末	9,956		△0.1	90.2	-	-
2023年1月末	9,955		△0.1	90.2	-	-
2月末	9,954		△0.1	90.2	-	-
3月末	9,953		△0.1	90.2	-	-
4月末	9,951		△0.1	90.7	-	-
(期末) 2023年5月15日	9,951		△0.1	90.2	-	-

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

投資している国債等のマイナス金利環境を要因とする支払利息等。

○投資環境

国内経済は、消費や雇用環境など景気全般に持ち直しの動きが見られました。このような中、日本銀行は2022年12月の金融政策決定会合で、長短金利操作（イールドカーブ・コントロール）の運用を一部見直し、長期金利の許容変動幅を±0.5%と、従来の±0.25%から拡大することを決定しました。

TDB（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは、期を通して概ね-0.1%～-0.2%台で推移しました。また、無担保コール翌日物金利は-0.01%～-0.08%程度で推移しました。

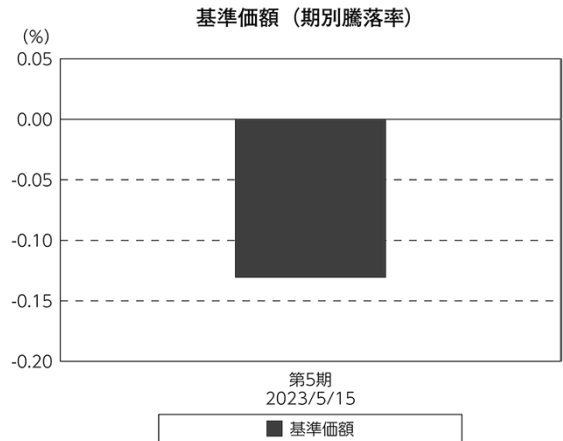
○当ファンドのポートフォリオ

主として残存3ヶ月程度までのTDBにより運用いたしました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

残存期間の短いわが国の国債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせて債券現先やコールローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる国債等の利回りや余資運用の際の債券現先・コールローン等の金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2022年5月17日～2023年5月15日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2022年5月17日～2023年5月15日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 6,744,448	千円 — (6,534,000)

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

* () 内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2022年5月17日～2023年5月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年5月15日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期		末				
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	1,581,000 (1,581,000)	1,581,439 (1,581,439)	90.2 (90.2)	— (—)	— (—)	— (—)	90.2 (90.2)
合 計	1,581,000 (1,581,000)	1,581,439 (1,581,439)	90.2 (90.2)	— (—)	— (—)	— (—)	90.2 (90.2)

* ()内は非上場債で内書きです。

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
国庫短期証券 第1125回	—	9,000	9,001	2023/6/12
国庫短期証券 第1138回	—	202,000	202,007	2023/5/22
国庫短期証券 第1140回	—	108,000	108,006	2023/5/29
国庫短期証券 第1141回	—	122,000	122,009	2023/6/5
国庫短期証券 第1144回	—	135,000	135,025	2023/6/19
国庫短期証券 第1146回	—	31,000	31,005	2023/6/26
国庫短期証券 第1148回	—	19,000	19,005	2023/7/10
国庫短期証券 第1151回	—	376,000	376,130	2023/7/24
国庫短期証券 第1153回	—	181,000	181,070	2023/7/31
国庫短期証券 第1154回	—	196,000	196,081	2023/8/7
国庫短期証券 第1156回	—	202,000	202,095	2023/8/14
合 計		1,581,000	1,581,439	

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年5月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,581,439	% 90.2
コール・ローン等、その他	172,297	9.8
投資信託財産総額	1,753,736	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年5月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,753,736,197
コール・ローン等	172,296,982
公社債(評価額)	1,581,439,215
(B) 負債	138
未払利息	138
(C) 純資産総額(A-B)	1,753,736,059
元本	1,762,457,442
次期繰越損益金	△ 8,721,383
(D) 受益権総口数	1,762,457,442口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,951円

(注) 期首元本額は1,534,998,225円、期中追加設定元本額は451,415,039円、期中一部解約元本額は223,955,822円、1口当たり純資産額は0.9951円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・ストップライン付き野村ワールドボンド・ファンド 1,762,457,442円

○損益の状況 (2022年5月17日～2023年5月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△2,294,641
受取利息	△2,243,517
支払利息	△ 51,124
(B) 有価証券売買損益	△ 3,657
売買損	△ 3,657
(C) 当期損益金(A+B)	△2,298,298
(D) 前期繰越損益金	△5,563,868
(E) 追加信託差損益金	△1,815,039
(F) 解約差損益金	955,822
(G) 計(C+D+E+F)	△8,721,383
次期繰越損益金(G)	△8,721,383

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。